

# 雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和5年 7月13日発行

雫石中学校

## コミュニティ・スクール熟議を開催しました

6月28日(水)、雫石中学校で1年生「ふるさと学習」に向けた熟議(自由に意見を出し合う会)を行いました。雫石中学校のふるさと学習は、雫石の生活文化、伝統文化、自然、産業等を知り、郷土への理解を深め、郷土を愛する心を育てる目的で行われてきました。今回の熟議では、福祉、農業、商工会、地域づくり、伝統芸能、行政の各分野に詳しい方から、具体的な活動の案や、若い世代の地域社会へ参画、地域側のニーズを聞く機会となりました。今回出た意見をもとに、どんな活動が行えるかを学校が検討し、秋の実施に向けて計画を立てていくことになります。

地域の祭りや伝統芸能を伝えるキッカケになれば!

雫石の魅力的な土産物の開発

中学生が立ち寄れるおしゃれなカフェ♡

地域を盛り上げることを考えさせたい!

~こんなアイデアができました~



町の方は、中学生の気持ちを聞いてみたい

各地域のお年寄りとの交流  
(敬老会事業と絡めて)

亀甲織や、草履づくりの体験

小学校区での活動もいいね☆

お金を稼ぐ活動も面白そう!

小学校から中学校まで繋がるような活動に...

## ところで「熟議」ってなんだろう?

課題解決や、目標共有したいときに関係する人たちが集まって、ざっくばらんに話し合う会のことだよ!

何のためにやるの?

お互いの立場や、役割への理解が深まるし、解決策が見えやすくなるよ。それぞれが納得して役割を果たすようになるよ

僕たちも参加できるの?

テーマによって、子どもたちの考えや意見が必要な時には参加して欲しいし、誰でも参加できるよ!



## 雫石小2年生 雫石よしゃれ通り探検

# しょうてんがいのこと、もっと知りたい！

7月5日（水）、雫石小学校2年生、46名はよしゃれ通り探検に出かけました。地域の商店街を知ること、ふるさとへの愛着を深めようというこの学習に、鈴木豊さん（晴山）と横手信子さん（駅前）が地域ボランティアとして児童を引率しました。

3時間目、鈴木さんの引率する1組のグループは諏訪商店を訪問しました。諏訪商店は米のほか、ガスや灯油なども売っていることを店員の高橋さんから教わりました。7年前から売られている団子は米粉からではなく、玄米を蒸し、餅のようにつけて作っていると教わった児童たちは、玄米の粒感や弾力を確かめながらみたらし団子の試食をいただきました。また鈴木さんは「これは質問してみたら？」などと児童を促し、学びが深まるようサポートしました。

4時間目は2組が探検に出かけました。横手さんは、相澤家具店を訪問するグループを引率し、見守りや声掛けを行いました。相澤家具店では、邦夫さん睦子さんご夫妻が、店内や木工所を案内してくれました。普段見ることのない2階の作業場も見学させていただいた児童たち。横手さんは「孫以外の小学生と話すことがあまりないから新鮮です」と児童たちとの交流を楽しみ、児童にとっては商店街の方や、地域の方に支えられた学習になりました。

大定商店、中村屋、米澤時計店、諏訪商店、村松靴店、木文商店、菊屋薬局、相澤家具店、中屋五郎商店にご協力いただきました

### 諏訪商店



米屋として約100年前にできたんだよ

諏訪商店は何年前にできたんですか？

### 相澤家具店



あっ、開けられたよ！(^^)!

木で作ったからくり箱、開けられるかな？

## 先輩から後輩へ伝統芸能継承

# 雫石中学校1年生よしゃれパレード練習会

7月4日（火）、5日（水）に雫石中学校1年生が、8月11日（金）に行われるよしゃれ祭り参加へ向けての練習会を開催しました。指導は雫石町婦人会が行い、雫石高校郷土芸能委員会13名、雫石高校有志2名が中学生の手本となり一緒に練習を行いました。

4日は、体育館で踊りの習得を目指し練習しました。婦人会の佐々木智恵さんが壇上から「腕を伸ばす！」「親指を折って！」と掛け声をかけ、最初は手の振り、次は足を合わせて踊りました。

輪の間には高校生が入って踊り、中学生はその動きを真似ながら1時間後には全員が踊れるようになりました。8月11日のよしゃれ祭りでは、雫石高校生が先導した雫石中一年生の踊りの列が、よしゃれ通りを練り歩きます。



指先まで洗練された雫石高校生を手本に